

◇「ナゼスタイル」は長岡で頑張る企業・起業家を応援するフリーペーパーです。(奇数月発行)

NAZE Style

Nagaoka Activation
Zone of Energy

vol. 40
20140127

CONTENTS :

会長新春挨拶

JICA事業採択 = (株)イトラスト / (株)大原鉄工所

第8期NEXT道場を終えて

会員企業見学会報告レポート

豪技2013開発秘話

NAZE NEWS

デザインコラム vol.24

FREE
0円

放電用電極 (株)NDC

新春のご挨拶



NAZE会長
小西 統雄
株小西鍍金 代表取締役

2014年の年が明けました。皆様、明けましておめでとうございます。

昨年は1億円以上の値がついた天然マグロの相場に仰天し、それなりに景気昂揚が期待されたのですが、残念ながら新潟県までは及ばなかったというのが実感です。今年こそ偽りの夜明けにならないよう、NAZE会員の結束を力に、情報をキーとしたエリアプロモーション、信頼をキーとしたより一層の産産地域連携、技術をキーとした地域の技術力向上、未来創造をキーとした産学連携に今まで以上に重点を置きたいと考えています。

さて、東京オリンピックが開催される2020年まで、あと6年です。その時日本は、新潟県は、いや長岡は今より明るいのでしょうか。輝いているのでしょうか。安倍首相の成長戦略「日本再興戦略」の総論の中に「企業経営者（大企業・中堅企業の）」はかなり出てきていますが、「中小零細企業」についてはほとんど触れられていません。日本のものづくりは、中小零細企業が支えているのですが、はたして安倍首相はどこまでご存じなのでしょうか。

下記に、2014年度中小零細企業に対する国、県、市の主な支援策を記載しました。

前回の1964年東京オリンピックを挟んだ、1956年度から1973年度の間は高度経済成長期といわれ、平均9.1%の経済成長を成し遂げていたのです。東京オリンピックの開催年は9.5%、翌年でも6.2%の経済成長をしていました。ですから政府が舵取りさえ間

違わなければ、かなり期待をしていいのではと考えています。

21世紀前半の最初の経済成長を逃げる絶好の機会が訪れようと、今しているのです。その判断は誰がするのでしょうか？貴方でしよう。チャンスの神様には、前髪はあっても後ろ髪は無いのです。この機会を逃さないように！今年も一年頑張っていきましょう。

※国、新潟県、長岡市の中小企業支援政策にも現場力強化の内容が盛り込まれています。

1. 経済産業省関連では、ものづくり助成・支援事業 ①ものづくり中小企業・小規模事業者等連携事業創造促進事業 ②中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業 等
2. (独)新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) 支援事業
3. (独)科学技術振興機構 (JST) 支援事業 ①研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) ②大学発新産業創出拠点プロジェクト (START)
4. 総務省支援事業 戦略的情報通信研究開発推進制度 (SCOPE) 等
5. 新潟県工業技術総合研究所 支援事業「技術支援・ミニ共同研究」
6. NICO 新商品・新技術開発に関する助成支援制度 等
7. 長岡市 ものづくり支援制度 ①フロンティアチャレンジ補助金 ②見本市等出展支援事業補助金 ③融資 等

長岡地域の活性化に向けてシンポジウムを開催します！

「攻めの経営戦略と外部経営資源の活用」

と き 3月5日(水) 15:30~17:00

ところ 長岡商工会議所2F

参加費 無 料

主 催 NPO法人長岡産業活性化協会NAZE

申込み TEL : 0258-42-8700
FAX : 0258-42-8701
E-mail : info@naze.biz

内 容 基調講演・パネルディスカッション
「攻めの経営戦略と外部経営資源の活用」

〈パネリスト〉

- 株スズキプレシジョン 代表取締役会長 鈴木庸介氏 (鹿沼ものづくり技術研究会 代表)
- スタック電子(株) 相談役 田島瑞也氏 (TAMA産業活性化協会 会長)
- 株アルモ 代表取締役 柴木樹氏 (長岡産業活性化協会NAZE 副幹事長)

〈コーディネーター・基調講演講師〉

- 高橋伸一郎氏 (21ものづくりネット 代表幹事)

※当日は、同会場にて「平成25年度第2回通常総会」を13:30から開催いたします。

NAZEは現在75会員！ 法人71・個人4

旭精機(株)

(株)アサヒプレシジョン

飛鳥運輸(株)

(株)アドテックエンジニアリング

(株)アルモ

(株)アンドウ

(株)イートラスト

(株)池田機工

越後工業(株)

エヌ・エス・エス(株)

(株)N D C

(株)エム・エスオフィス

(有)エムケイ技研

(株)オオイ

(株)大善

(株)大原鉄工所

(株)大菱計器製作所

小川コンベヤ(株)

(株)片山抜型製作所

(株)カバサワ

久保誠電気興業(株)

(有)倉品鐵工

クリーン・テクノロジー(株)

クリエイトエンジニアリング(株)

(株)クワバラ

(株)小西鍍金

(有)小林超硬研磨

(株)サカタ製作所

(株)佐藤板金

(株)システムスクエア

(株)七里商店

(株)シナダ

(有)シンイー木型工業

(株)鈴民精密工業所

(株)ソリマチ技研

長岡のモノづくりの技術が海外の支援に貢献！

日本の優れた技術・ノウハウは、開発途上国から大きなニーズがあります。このたび、NAZE会員企業の開発した技術・製品が、独立行政法人国際協力機構（JICA）の海外展開支援事業に採択されました。これらの事業で活用される技術・製品は、中越大地震の被災経験等に加え、長岡市のフロンティアチャレンジ補助金を活用して開発されたものです。

河川監視カメラで 洪水対策

株式会社イトラスト

草の根技術協力事業において「地域経済密着型の河川簡易監視カメラシステムによる防災システム向上プロジェクト」（対象国：フィリピン共和国）が採択されました。これは、河川監視カメラによる洪水対策防災システムの設置のほか、現地の技術者が長岡市内で研修を行うものです。

また、外務省政府開発援助海外経済協力事業委託費による案件化調査では、「太陽光発電及び無線通信を活用した河川監視カメラシステムによる水防災対策事業に係る案件化調査」（対象国：バングラデシュ人民共和国）が採択され、防災システムの適合性検証を行います。



バイオガス発電で 電力の安定供給

株式会社大原鉄工所

外務省政府開発援助海外経済協力事業委託費による案件化調査において「バイオガス発電技術普及案件化調査」（対象国：フィリピン共和国）が採択されました。この事業は、家畜の糞尿による環境汚染を改善し、電力の安定供給を実現するためにバイオガス発電機の設置に向けた実証調査を行うものです。

家畜の糞尿等から精製されるバイオマスエネルギーはカーボンニュートラルで再生可能なエネルギー源で、地球温暖化防止やエネルギー問題に寄与できるものと注目されています。



※このほか、長岡市内の企業からは、ワキヤ技研株式会社の「緊急告知ラジオによる災害情報提供を活用した地域住民災害対応能力強化案件化調査」が外務省政府開発援助海外経済協力事業委託費による案件化調査に採択されました。

(株)大光銀行	(株)長岡金型	(株)中津山熱処理	(株)プラカード・ジャパン	ユニオンツール(株)長岡工場
(株)第四銀行	長岡技術科学大学	(株)ナノテム	古川機工(株)	吉井国際特許事務所
(株)タカキ	産学官・地域連携/知的財産本部	(株)難波製作所	(株)プレッテック・エヌ	安達 弘哉
(株)たかの	長岡工業高等専門学校	新潟工科大学	(株)北越銀行	高田 孝次
(株)タカハシ	長岡造形大学	(株)ネオス	(株)ホクギン経済研究所	廣井 晃
中越鋳物工業協同組合	デザイン研究開発センター	(株)パートナーズプロジェクト	北陽精工(株)	柳 和久
テラノ精工(株)	長岡大学 地域研究センター	(株)林メッキ工業所	マコー(株)	
(株)トーエイ	長岡電子(株)	(株)BSNアイネット長岡支社	(株)丸栄機械製作所	
ナウエス精工(株)	(株)永島工機	(株)F U C O	(有)毛利製作所	(H26.1.25現在)

第8期NEXT道場を終えて

5月からスタートした第8期NEXT道場が全13回（初級6回、上級7回）のカリキュラムを無事に修了しました。今年度のNEXT道場について、塾生の金子一さん、桑原美博塾長からご報告いただきます。

第8期塾生 金子 一 (株)片山抜型製作所 プロダクツ事業部長

入社8年が経ち、それなりの職位にもなって、様々な面で経営の勉強をしてきたつもりですが、仮に将来経営者の立場になった際に経営判断することにある種の恐ろしさを感じていたことが、NEXT道場入塾の切っ掛けです。このような動機で始めましたので初回は怖々参加したのですが、講義はわかりやすく、ワークや懇親会を通じて塾生同士で気心が知れ合うようになるとその後の出席が待ち遠しくなりました。

長岡技術科学大学・志田敬介先生の経済性工学は、私にとって新たな切り口を身に付けることができました。「比較の対象を明確にすること」「手余り/手詰まりという状態の違いによる利益貢献への改善方法」等実践に役立っています。また、北越銀行・浅妻充調査役の融資ロールプレイングでは、青写真をしっかり描くこと、そして裏付けのある計画を立てることの重要性を認識いたしました。（当社の事業計画策定にも活かしたつもりですが、実行段階では四苦八苦しそうです）このように知識・技術面でのご指導はもちろんです。道場初期段階で桑原塾長からいただいた「経営者としての姿勢、使命感・経営哲学を持つことが必要だ」とのお話が最も記憶に残っています。これから実践を積む中で具体的なものとして身に付けたいと考えています。

最後に、今後の長岡エリアを背負って立つ企業幹部の皆さんと細々ではありますが接点を持つことができましたので、この繋がりも大事していきたいと思っています。半年間、ありがとうございました。



塾長 桑原美博

長岡電子(株) 代表取締役

第8期のNEXT道場が修了して、正直なところホッとしています。理由は今期からカリキュラムを変更したことにあります。初級・上級編に分けたり、NAZE会員以外にも声を掛けるなどしてリニューアルを試みました。どうなることかと危惧していましたが、予想以上にスムーズに事が進み安堵しました。

募集開始後すぐに11名の応募があり、延べ13名の受講者となりました。塾生の年齢・構成・職務の幅の広さが逆にグループ作業の活性を起こしました。欠席者が無く、レポート提出率も100%など、塾生のモチベーションの高さが印象的でした。

カリキュラムを変えたこととの因果は定かではありませんが、効果はあったはずと自画自賛しています。

裏方として準備してくれたスタッフをはじめ、お忙しいなか講師を快諾していただいた各位のご尽力に感謝します。



交流部会

第2回会員企業見学会 報告レポート

小川コンベヤ株式会社 + エヌ・エス・エス株式会社
平成25年11月26日(火) 13:30~17:00(バス移動) 参加人数: 18名

交流部会では、今年度2回目となる会員企業工場見学会を実施しました。

最初に小川コンベヤ(株)を訪問し、小川社長自ら会社概要の解説から工場の案内まで対応していただきました。

創業は、米倉庫の米依の運搬・積み上げに小川のコンベヤが使われたことが評判を生み、たちまち拡大—その技術と姿勢が今日の様々な用途のコンベヤ開発・販売に繋がっています。創立当時の写真とともに今日までの発展の歴史を解説していただきましたが、小川社長はお話のあちこちで、企業と心の通った情報交換が大事であると語っておられました。小川社長が人間的な温かさを大切にしていることがひしひしと伝わってきました。

現在は最適搬送システムを企画し、設計、製作、制御、据付、メンテナンスと一貫したサービスを行い、「多階式ハイレーター」など他にない特徴をもったコンベヤでさらなる発展を続けています。広く天井の高い工場で、その「ハイレーター」の動きを見られたことは大変貴重な体験でした。

次に、エヌ・エス・エス(株)を訪ねました。

はじめに工場内を案内していただき、その後、会社の概要、金属加工の基礎のお話、そしてエヌ・エス・エスの企業姿勢をお話いただきました。様々な加工機が整然と並び、それらが可動していた

非常に規模の大きい工場では、主に高精度スピンドルを製造しているとのこと。設計から製造・管理等々のすべての部門を見せていただきましたが、そこには企業の漲る自信が感じられました。

また、社内全てを案内していただいたばかりでなく、見学者5人ごとに案内担当の方が1人ずつ付いて解説していただくという丁寧な対応は、初めてのことで大変感動しました。それらが語るように、社内は整然としており、社員はみな心地よい礼儀で接し、製品はどこよりも高い精度を誇っているかのように並べられていました。これが素晴らしい発展を遂げている企業の姿なのだと思い知らされました。

企業見学会を終えて、両社はまさにこの地域の代表的な企業であることを実感しました。

今回、学生の参加者はおりませんでしたが、次回はぜひ多くの学生からも積極的に参加していただきたいと思います。

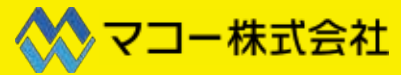


小川コンベヤ(株)



エヌ・エス・エス(株)

ウェットブラストによるレストア向け洗浄装置
ココットシリーズ vol.3/3



営業統括本部 広報 須佐 吉和

<ココットの販売戦略とPR>

ココットは当社で初めての民生向け商品のため、装置の拡販も試行錯誤の繰り返しでした。

まず手始めに考えたのは、従来とは異なる販売手法とPR方法でした。

当社は小さな会社で、100万円の機械を販売するために全国を飛び回る専任の営業をつける余力はありません。また、販売価格を抑えるためには代理店も置きたくないため、装置はインターネット限定で販売することにしました。面と向かったの営業ができないため、ホームページでの情報発信・収集や配布用の広報ツールの充実を行う必要があり、NAZEの会員である(株)ネオスの山本氏に協力いただいて、様々なツールを製作いたしました。その際に、消費者の購買に至るまでの心理状態に合わせたPRを行うことで、購買までの道筋をつけられるという「AIDMA理論」を教えていただき、これに基づいたパンフレットやポスターなどを製作しました。さらに、2輪・4輪のアフターメンテナンスを取り扱っている雑誌への広告掲載や、自動車のアフターマーケット向けの展示会や旧車ショーなどにも積極的に出展しました。

また、装置デザインの優秀さをアピールするために、グッドデザイン賞にも応募し、見事受賞することができました。

<キャラバンと鉄人28号>

広報活動の中でもとりわけ新たな試みとして行ったのは、2トントラックの荷台にココット、発電機、コンプレッサーを積み込んで出張デモをおこなう「キャラバンデモ」でした。(図1)

事前に、開催地周辺のショップにビラを配り、雑誌に開催の告知広告を掲載して、カー用品店やバイクショップはもとより、自動車のジャンク部品のフリーマーケット会場やサーキットの駐車場など様々な場所でデモンストレーションを行いました。中には1日で数人しか集まらず、ウェットブラストの認知度の無さを痛感したこともありました。また、真夏の炎天下の中開催したキャラバンでは、トラックの荷台のコンプレッサーが熱でオーバーヒートし使い物にならなかったこともありました。

また、大きなPR効果となった実写映画「鉄人28号」へのココットの出演も、幸運な偶然から起こったことでした。ある展示会に出展しココットを展示していた所、突然映画会社のスタッフから「この機械を、ある映画のセットとして使わせてもらえますか?」と声をかけられました。なんでも、出展した展示会と併設で開催されていたロボット展に、映画のセットとして鉄人をメンテナンスするロボットに相応しい機械を探されていた所、たまたま当社のブースにあるココットが目にとまり声をかけたとのことでした。スクリーンにはほんの数秒しか登場していません(図2)が、いい話題づくりにもなり大きなPR効果をあげることができました。



図1 キャラバンの様子



図2 鉄人28号撮影風景

<最後に>

ココットを発売して約10年、試行錯誤の積み重ねでしたが、おかげさまでこれまでに300台を超える装置を納入することができました。今後は、新たな分野への進出や海外への展開も視野に入れた販売戦略をとっていきたいと考えております。

今回NAZE豪技2013に認定いただくにあたり、ご協力いただいた地元企業の皆様に感謝の言葉を申し上げますと共に、今後もココット、およびウェットブラストと言う技術を世界にむけて発信し続けていく所存です。

(おわり)

■ 平成25年度全体会議を開催

平成25年11月29日(金)、ホテルニューオータニ長岡を会場に「平成25年度全体会議」を開催しました。全体会議は、本年度上半期における広報・交流・技術各支部の事業活動や成果について、会員が理解を深め合うことを目的に毎年開催しているものです。

当日は、全体会議と併せて、「長岡地域のモノづくり産業に思うこと」と題し、日本経済新聞社長岡支局長の水口博毅さんから講話いただきました。



■ 技術部会 公開技術セミナーを開催

平成25年12月11日(水)、まちなかキャンパス長岡でNAZE公開技術セミナーを開催しました。当日は長岡市の製造業に勤務する技術者約50名が出席。小山工業高等専門学校の前田准教授から「機械設計製図の盲点と機械設計者の技」をテーマに講演いただきました。

講演内容は、世界のどこで生産しても同等な品質の部品が供給されるための図面作成方法に関する分かりやすい解説で、特にGPS規格 (Geometrical Product Specifications) で規定されている幾何公差についての解説は非常に分かりやすく、「目からウロコが落ちる」思いでした。さらに、公差解析技術の設計への導入が、不必要な精度を回避し、生産コストを下げる効果があることを再認識しました。

最後に、長岡技術科学大学の柳和久教授から、GPS規格に則った部品図面による加工計測コンペについての解説と提案があり、「面の輪郭度定義」を端的に表現した図面を例に、加工方法と計測方法について受講者を交えて活発な意見交換が行われました。

受講者にとって非常に役立つ内容であったと思います。



デザインコラム vol.24

NAZE ID コーディネーター
松丸 武

「際限なく拡大する人間のモノ欲求」

=モーターショーが日本のモノの行く先を表す=

昨年末の第43回東京モーターショーは何を語ったか、どう見たか? デザインの視点から私なりの印象を短くまとめてみたい。(主催者側のメディアを中心にして)

「次世代自動車がくらしを、街を、社会を変える。国内外の多彩な企業が先進技術を、製品を携え、一堂に集う。」と謳われた今回のモーターショー。キャッチコピーからはこれまでと大きく変わった印象は受けられないけれど、メーカーのコンセプト(展示内容)が主張するものは、例年と全く異なったものであったように思う。今回ほど各社が「斬新」と主張し、人間の夢を大きく前進させて造形表現をしたプレゼンは、これまでなかった。

技術(科学的側面)追求と人間(感性的側面)追求の双方からの追求を融合して、バランスある最先端を築くことを見事に実在させた内容の展示であったと思う。

明日の日本産業界(モノづくり産業全体)が、技術とデザインの融合力で世界の生活者(消費者)に向けて提案・提示し、日本産業界の力の特徴(誇れる力)を具体的に示す方向であったといえるだろう。デザインはそれを解りやすく表していた。日本が、今後一層それを自覚していなければならない姿勢を示していたともいえる。あのように明確に示し、生活者に響き、届いた展示会は他に例がないだろう。

今回は、これまで安全、優しいインターフェイス、エコ、省エネ、省資源等々と続いてきたテーマとは大きく異なった角度からの主張があった。そこにもっと加えられる要素、「人間の際限ない欲求に応える」とともに、「企業存続のための攻め手」でもある、自動車が求められる造形が表わされていた。まさに造形(デザイン)は人間の欲求に応える一つの大きな要素であることを語っている。

解りにくいかもしれないが、メーカーは「いつかこのデザインの力を語りかけて、自動車が人間に伝えていく力として訴求していきたい」と考えていたのだろうと思う。

「技術」と「デザイン」は融合し、常に、際限無い人間の欲求を満たすことを考えている。

自動車に限らない。デザインが持つ力をもっと使うことで得られるメリットがあることを知ろう!



第43回東京モーターショーの広報のほんの一部 (HPより)

長岡で頑張る企業、起業家を応援します!

NAZE

くわしくは → <http://www.naze.biz/>

Nagaoka Activation Zone of Energy
NPO 法人 長岡産業活性化協会 NAZE

●記事内容についての感想をお待ちしています!

〒940-2127 新潟県長岡市新産4丁目1番地9 NICO テクノプラザ内 NAZE 事務局
TEL : 0258-42-8700 FAX : 0258-42-8701 E-mail : info@naze.biz